

✓ 沖縄の水道配管卸業の商権

イシグロが譲り受け

県全域への管材即納体制整備

総合配管機材商社のイシグロ(本社・東京都中央区、社長・石黒克司氏)は、9月1日付で沖縄の老舗水道配管卸業である協同バルブ商事(本社・沖縄県那覇市西、社長・新崎陣市氏)の事業、商権を譲り受ける。扱い商品のラインアップ拡充と県内全域への即納体制を整えて業容拡大を図っていく。

協同バルブ商事は新崎社長が1971年(昭46)に創業。沖縄本島全域が営業基盤で、主に排水・水栓金具などの水道関係資材を取り扱い、管工事会社や設備会社向けに販売している。昨年度の年商は約2億5千万円。

つくる人に最適を。くらす未来に快適を。

kanzai

日本管材センター株式会社 TEL:03-5541-5119 FAX:03-5541-5298 <https://www.kanzai.co.jp/>

イシグロは、那覇市東町に沖縄営業所を構えている。今月から協同バルブ商事本社にも営業デスクを設置し、同社の在庫と仕入機能を活用して営業を行う。

商権を譲り受ける9月以降、仕入・販売はイシグロ・沖縄営業所に一本化。協同バルブ商事の社員は同社に転籍し、新崎社長は同社顧問として引き続き新商品開発などを担当する。またイシグロは、

今年12月に沖縄営業所を那覇市に隣接する豊見城(とみぐさ)市に移転する予定。

沖縄はリゾートホテル関連など今後も大型商業施設、インフラ向けで管工機材の旺盛な需要が見込まれる。協同バルブ商事の商権を引き継ぐことで取り扱いアイテムのラインアップを拡充するほか、在庫拠点からの即納体制を整備、拡販していく。